

トラクターの運転操作

10月21日(水)に農業機械科1年生がトラクターの運転操作を学びました。毎年この時期に行っている実習であり、農作業を行う上では必要不可欠な機械になります。飯田下伊那地域では一家に一台20馬力程度で十分ですが、酪農や高原野菜が盛んな地域では一家に数台、最低でも50馬力というトラクターを所有しています。

まずは、担当教諭より乗り降りの方法、クラッチ、ブレーキの操作方法、主変速、副変速の設定の仕方等を教えてもらいました。その後は実際に操作しました。



担当教諭より説明



実際に操作



前方の安全確認をして発進！



遠くの目標物を見て運転します。